

植物のからだと日光

次の（ ）にあてはまることばを書きなさい。

1. ジャガイモをほうちょうで切ると、ほうちょうに白い汁しるがつき、それがかわくと白い粉になるが、これは（ ）である。
2. ジャガイモの切り口にヨウ素液そえきをつけると、（ ）色になる。
3. ジャガイモの芽めと根は、たねいもの（ ）から出る。
4. たねいもの（ ）は、ジャガイモの（ ）や（ ）が育つための養分ようぶんになる。
5. ジャガイモの葉にでんぷんがあるか調べるときは、葉を湯につけてやわらかくした後、湯であたためた（ ）に入れてからヨウ素液につける。これは、葉の色をぬいて、色の変化を見やすくするためである。
6. 植物の葉に（ ）が当たると、葉にでんぷんがつくられる。
7. 葉でつくられたでんぷんは（ ）という養分になって、水にとけてから全身に運ばれる。
8. 植物のでんぷんは（ ）と（ ）を材料としてつくられる。
9. 植物は昼間日光があたっているときに、（ ）のエネルギーを使って、でんぷんを作る。このはたらきを（ ）という。

植物のからだと日光 解答

次の（ ）にあてはまることばを書きなさい。

1. ジャガイモをほうちょうで切ると、ほうちょうに白い汁しるがつき、それがかわくと白い粉になるが、これは（でんぷん）である。
2. ジャガイモの切り口にヨウ素液そえきをつけると、（青むらさき）色になる。
3. ジャガイモの芽めと根は、たねいもの（くぼみ）から出る。
4. たねいもの（でんぷん）は、ジャガイモの（芽）や（くき）が育つための養分ようぶんになる。
5. ジャガイモの葉にでんぷんがあるか調べるときは、葉を湯につけてやわらかくした後、湯であたためた（アルコール）に入れてからヨウ素液につける。これは、葉の色をぬいて、色の変化を見やすくするためである。
6. 植物の葉に（日光）が当たると、葉にでんぷんがつくられる。
7. 葉でつくられたでんぷんは（糖とう）という養分になって、水にとけてから全身に運ばれる。
8. 植物のでんぷんは（二酸化炭素）と（水）を材料としてつくられる。
9. 植物は昼間日光があたっているときに、（光）のエネルギーを使って、でんぷんを作る。このはたらきを（光合成こうごうせい）という。